

文献センター通信・

リベート□

第2号

1995年5月15日発行

定価／300円
(年4回発行)

7 6 4 3 2 本号の内容

文献センターから／寄贈書

A I C会員募集

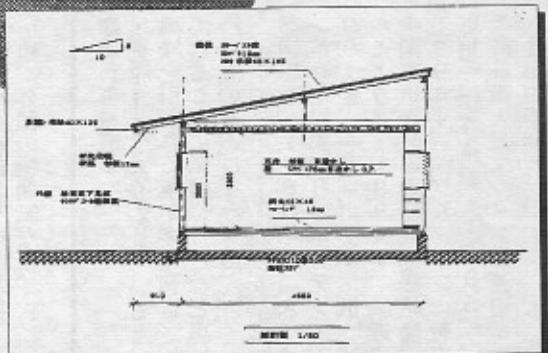
連合論ノート②

データベース入門①
〔投稿〕島田丑之助さんを救

おう



新しくなった書庫の外観と設計図
(右)。書庫内には書棚も既に取り付けられている。今後、資料の整理と、データベースの構築が続けて行われる。(4月末、龍氏撮影)



四月二十日をもつて書庫新築が完了しました。これは皆さん御協力なくしては出来ませんでした。特に奥沢さん、伊藤さん、佐藤さん、羽熊さん達には大変に御世話になりました。心から御礼を申し上げる次第です。

文献センターの活動を再開していくわけですが、旧書庫からの文献・資料の移転やその資料の整理や、新しい文献・資料の

二 搬 搬

搬入による整理・分類等があります。

日常は小生は仕事をもつていて、土・日の休日に整理の仕事をするわけで、A文献センターのワーク・キャンプ参加者は、食費は自弁してくださいようお願いします。

なお、お訪ねくださる方は、前もつてご連絡ください。

一九九五年五月一日

龍武一郎

文献センターから

・3月の富士宮ワークル書庫建設地整備作業

3月18～21日の4日間、富士宮の書庫建設予定地にあった物置とプレハブの撤去作業が行われました。作業は、東京からの参加者を得て、最終日の昼までにかろうじて完了することができました。

連絡の不備や震災による交通難のため、予定された参加者数が得られず、いさかへードな作業になりましたが、幸い好天に恵まれ、予定通りに作業を進めることができました。

・書庫建設II4月

写真に見るよう、4月に入つてから建設作業に着手、小規模で単純な構造もあって、建物自体および書庫内の本棚は同20日には完成。付帯工事も4月中には完了しました。

・資料の移転作業

書庫の完成とともに、旧センターより蔵書の引越しが予定されます

が、詳細は未定。できれば、いま考えられている情報システムに連動して効率的に実施したいと考えています。

・情報システムの実施計画

当初考え、計画された人力方法やプログラムに無理があつたため、改めて詳細を検討しています。どのように考へているかは今号から連載記事(6頁)を参照してください。

とりあえず、基本的なカード作成および入力を順次進めたいと考えます。

・書庫完成記念の催事II9月15日 17日予定

書庫の完成を期して、センターの今後の方向やあり方を改めて問題提起したいと考えています。その内容やご意見は逐次本紙で取り上げてきますが、まずは書庫の完成を祝して集いたいと思います。

場所は富士宮で9月の15日(金・祝日)～17日(日)を予定しています。あらためてご案内いたしますが、ぜひとも予定を空けておいてください。



寄贈書

大沢正道氏より
『クロボトキン伝』(ビルモーヴィア)

『時計職人とマルクス』第1イ
ンターにおける連合主義と専權
主義 渡辺孝次

『ブルードンの教育思想』住岡
英毅

レコード『M A I 68』『C A N
T I A N A R C H I C L』

『論争』2、5号

西田秀夫氏より
『現代の理論』1969年10月号
(69号)

『前夜祭』1970年9月(8
号)

『アナキストの文学』(秋山清)
『白い花』(秋山清)

『大石誠之助の情歌』(森長英)
『土民芸術論』(石川三四郎、
コビー)

『無政府主義講座』(石川三四
郎)

『無政府主義』(日本アナ連)
『選舉について』(日本アナ連)
『ハンガリア事件』(大沢正道)
『労働者諸君に語る』(植村諦)
『私の生いたち』(伊串英治)

『革命の研究』(クロボトキン)
『法律と強権』(クロボトキン)
『代議制度』(クロボトキン)

『法律と強権』(クロボトキン)、
名古屋)

『私は広島を証言する』(栗原
貞子)

『平民の鐘』(ポール・ベルテ
ロー)

『反逆者の獄中手記』(大杉栄
他)

『平民政』(ボール・ベルテ
ロー)

『銅鑼は鳴る』(横倉辰治)
『遊戲と労働の弁証法』(大沢
正道)

『國家と組織』(大沢正道)
『エエジヤナイカ、花のゲリラ
戦記』(水田ふう、向井孝)
他、外国の機関紙など。

●新刊書籍感

お贈書リストなどを見ていると、興味を引かれる本が多く刊行されていることに気づく。さつと思いつくものをあげてみても、『エドワード・カーベンターブ』(都築忠七・1985年)、『スペイン革命全歴史』B・ボロテン・1991年、『クロボトキン伝』(ビルモーヴィア・1994年)、「中国アナキズムの研究」嵯峨隆・1994年、『ブルードンの教育思想』(住谷英毅・1995年)、『時計職人とマルクス』渡辺孝次

AIIC会員を募集

去る3月2日、かねてより懸案のAIIC(A-NET国際情報センター)が発足しました。当センターの概要をお知らせするとともに、ここにあらためて会員とスタッフの募集をご案内申し上げます。

当センターは、今話題のインターネットを通じて、世界の社会運動、変革運動、革命運動、アナキズム運動etcの情報を国境をこえてやりとりし、かつ重要な文献等の情報を興味のある方々に提供しようという趣旨で設立されました。

基本的な情報は技術や組織の壁を越えて、求める者に誰にでも供給されねばならないと考えるからです。

発足時の当面の運営は以下の様になりました

1. 名称

AIIC(A-NET International Information Center)

2. 連絡先

東京都王子郵便局私書箱44号
AYC気付

電話連絡 03(3352)6519(仮)

郵便振替口座

00180-8-98367

口座名義 AIIC

3. 運 営

A. スタッフ制

●運営は翻訳・技術・出版・会計の各スタッフによって行われる。スタッフは一時的な参加でも可能である。

●各スタッフの世話を選出し連絡運営の任にあたる。

●運営のプロセスは

全スタッフ会議 偶数月(2/4
/6/8/10/12)の第一土曜日

技術スタッフ会議 毎月第二火曜日

翻訳スタッフ会議 每月第一土曜日

全スタッフ会議にて翻訳対象、及び必要な情報の選定、配布の段取り



技術スタッフによる情報入手
及び送付



翻訳スタッフによる翻訳



全スタッフ会議へ

会員からの要望も同じステップに入る

B. 会員

会員は年間会費を納入することで、情報タイトルリストの日本語版AIIC通信(見本参照、初回はA420ページ程の予定)を入手できる。

そのうえ要望があれば特定の情報(英語版)をAIICを通じて入手。会員自身で翻訳した場合は可能なかぎりセンターに還元してもらう。

年間会費 3000円

以上の大まかな体制で出発することになりました。新しい流れの形成に向けて、ここに多くの方々に会員になって下さるようお願い申し上げます。また、一時的な形でのスタッフ参加も我々は歓迎します。既成の組織形態から逃れしていくことが今後試されます。

(中略)

1995.4.1

AIICスタッフ一同

この他にもまだあるかと思われるが、たまたま目にしたもので、これらに共通しているのが、いずれもじっくりと取り組まれた内容になっていること。その一冊一冊を読んだ訳ではないが、ざっと見ただけでそう感じさせるものを見ついている。例えば、その中の一冊『渡辺幸次著『時計職人とマルクス・第一インターナショナルにおける連合主義と集権主義』』(1995年12月、同文館出版、五千五百円)を取り上げてみる。この時期の運動とその論戦を実証的に跡づけたこの本は、そのテーマはもとより、その水準においても高く評価される。何よりも日本での研究書としてまとめられたことに、ます感心させられた。同時に、あれこれ聞きかじりのままに時を過ごしてきた身にとつて、こうしたテーマが着実に積み上げられていたことに、正直いつて力強さを感じた次第である。同じような感想は、カーペンターマー伝にしろ、ブルードン、スペイン、中国アナキズム運動の各テーマについても共通しているのである。

連合論ノート

森野栄一

(その2)

← 第1回 アナルコ・フェデラリズム、問題の整理のために(続)

連合主義とアナキズム、そしてマルクス主義との関係について

○連合主義とアナキズム この両者に共通するものはなにか
連合主義→社会的な各水準の固有の領域におけるそれぞれの統治の自律性の保証が存在するような統治(政府)が存在しない社会に関する理

論か

政治的権力の否定としてのアナキズム(対立か?)

政府の存在しない社会に関する理

形態を生み出す

△それに参加する万人の共通で

連合主義の観念の否定を含んでいるのか(→否)
ほんどのアナキズムにとって連合主義はその建設的要素のひとつ

タトエバ

「…わたしがアナルシーによって開始した政府万能主義的観念の批判の結論とは、ヨーロッパの万民法の必然的基礎、あらゆる諸国家の組織化の必然的基礎である連合

によって終結しなければならないということで…」(ブルードン)
○ブルードンはアナルシーが組織されねばならないとき、連合主義の原理が役立つると考えている

△（経済領域では）
△作業所が社会の構成単位でなければならぬし、自主管理の諸形態を生み出す

△（カント『恒久平和のために』）
△（カント『恒久平和のために』）

△（カント『恒久平和のために』）
△（カント『恒久平和のために』）

付加分の所有

△ 参加による賃金制度の廃止

△ 農工連合

←

これらにはブルードンの連合主義と共通性があるが

△政治領域△
△自治区（コミューン）と地区（レジオン）の連合

△これらのブルードンの連合主義に関する観念はほとんどのアナキストに共通

△支配階級の用具としての国家

△マルクスの国家規定

△『ヘーゲル国法論批判』1843、ヘーゲルによる国家の神秘化、主觀化を攻撃。現実的人間が

国家の基礎である市民社会を構成していることを主張

△『ユダヤ人問題』1843、

△市民社会と政治的国家、人間の人間的解放→人間の政治的解放は人間の人間的解放ではない

タトエバ

△労働者協同組合、工業、農業、商業、技術の諸協同組合によつて組織された社会主義的自治区（コミューン）（バクー）

△下から上へ、国家へ、連合の方法で

△連合主義とアナキズムの理解は?

△マルクスの理解は?

△カントの理解は?

△マクダムの理解は?

△ブルードン的連合主義と対立

△マルクスの理解は?

△カントの理解は?

△マクダムの理解は?

787)

43、『ヘーゲル法哲学批判』1843、IIプロレタリアートの歴史

的役割

物質的力は物質的力によって
変革されねばならない



史的唯物論の導入

△封建体制の終焉→ブルジョアジー
の登場・ブルジョアジーと闘いは
じめるプロレタリアート



△歴史的存在とは、社会的自由を
現実のものとする階級の登場まで
継続的に解放者の役割を演ずる階
級のこと、そしてついには階級社
会の解消、これがプロレタリアー
トの使命

△国家の真の基礎は市民社会・そ
の分析→疎外された労働→市民社
会は歴史の基軸、真のかまど（
『経営草稿』）



○国家はブルジョアジーがその利
害と所有を保持せんがための必然
的な組織形態

△社会の物質的生産諸力と生
産諸関係の矛盾
△階級の敵対関係は革命の必
然性に関する意識をもたらす

トコロニ

かかるマルクス理論と政治的連合
主義の理論（ハミルトン、マジン
ン、ジエイの理論）との関係は？

そのポイントは



○政治的連合主義の基本目的は生
命、自由、所有を保証する「自由
な」政府の創出であり

○社会のさまざまな利害の間に均
衡を打ち立てる（野心に対しても
野心、党派に対する党派の闘争
「マディソン」）

!!マディソンはマルクスのよう
にプロレタリアートが階級社会を
変革する歴史的使命をもつなどと
は考えず、この可能性を認めない
→これに対してマルクスは

△政治的連合主義によつてなさ
れる解放は純粹に政治的で非人間
的

!!そこで保証される権利はエゴイ
ストの権利だ



!!「ドイツはなによりも国家と
なるべきだ」（マルクス）
詳細は口述

ヨウスルニ

階級闘争への民族問題の従属化
（→「社会主義のビスマルク」と
いうマルクスにバクーニンが与え
た評価を想起のこと）

に関するマルクスの態度はどーな
んだ

トコロニ
かかるマルクス理論と政治的連合
主義の理論（ハミルトン、マジン
ン、ジエイの理論）との関係は？

ブルードン 同上（肯定的意味で）
ブルードンについては後述

↑「アメリカンデモクラシー」

ブルードン 同上（肯定的意味で）
ブルードンについては後述

タトエバ

△アイルランド問題ではそれを
イギリスのプロレタリアートの階
級闘争に従属させている

△ドイツ連邦の問題では、マル
クス、エンゲルスは中央集権的国
家のドイツを望んでいた。!!中央
集権主義は諸國家を発展させるもつ
とも有効な手段

!!小国家の錯雜とした状態を永遠
化することはプロレタリアートの利
害に反するというエンゲルスの見解



△政治的連合主義ではそれが
政治的連合主義によつてなさ
れる解放は純粹に政治的で非人間
的



唯一にして不可分の
政治的連合主義 ジャコバン的共和制
カント

↓

ブルードン ←→ ハミルトンなど ←→ マルクス、エンゲルス
↑
バクーニン ←→

←→対立

→継承（類似）

アナルコフェデラリズム

政治的連合主義

ジャコバン的共和制

カント

↓

ブルードン

ハミルトンなど

マルクス、エンゲルス

↓

バクーニン

→

データベース入門①

ヒロ・イトウ

はじめに

今回から数回にわたり、「データベース」とは何かを解説します。データベースを構築する際の道具である「コンピュータ」を使ったデータベースについても触れることがあります。

◆ 例えば、図書整理に使用される図書カードには、一般的に次のようない項目が作成されます。

通し番号、分類、書名、著者名、発行者、出版社、初版発行年、出版年、購入日、書店名、定価、概要……。データが記入された図書カードは、言わば書籍そのものの分身です。数百、数千、数万枚の図書カードが、著者別やテーマ別に整理されていれば、目的の文献や資料を探し出すこともたやすくになります。

◆ 文献センターの項目カードは、文献に限らず、あらゆるデータを蓄積することを目標にしています。

項目カードに記録されるデータ

がどのようなものであっても、それは蓄積されて初めてデータベースとして利用できるようになります。

データベースというものは、ある程度、データが蓄積されない限り、その機能を果たしません。十

きもの、それが書籍であってもビラであっても新聞であっても、あるいは写真、ポスター、サウンド、映像、何でもかまわないわけです。

項目カードは、その分身です。テーマに沿って、分身である項目カードを拾い出すだけで、全体像がつかみやすくなるはずです。

そして、実体である資料には、項目カードを利用することで、簡単に行き着くことができます。

実体を持たないデータも存在します。DM発送用の住所録や顧客データ、あるいは売り上げデータや実験データのように、蓄積される記述内容そのものが実体であるようなデータです。この種のデータは、五十音に並べたり、地域別に抜き出したり、大きい順や小さい順に並べ替えることにより、データの内容をさまざまな角度から切り出すことができます。

◆ 文献センターの項目カードは、いずれ数千、数万枚に達することでしょう。同時に、項目カードの内容はコンピュータのデータとしても蓄積されることになっています。

数千、数万枚のカードを物理的に並べることは可能ですが、その内容を瞬時に読み取ることは、不可能です。しかし、コンピュータを使えば、特定の事物に関する著作やデータを瞬時に選び出すことができるのです。

◆

データベースを構築するとき、その「構築」だけに目を向けがちです。データベースを作ったとしても、それを利用しなければ存在しないのと同じです。

文献センターでのデータベース作りは、構築だけでなく、その利用も簡単に行えるようにします。

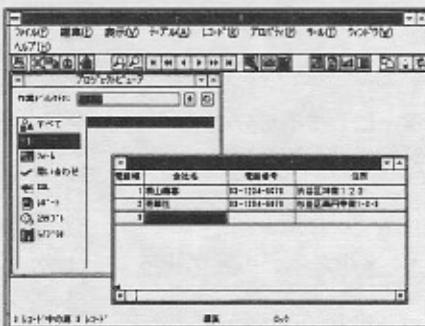


図1 Paradox for Windows

として、その利用方法もコンピュータを使うことになります。

◆

コンピュータは今や家電製品並みに扱われています。二十年前に数億円もしていたオフィスコンピュータと同じ能力のパソコンが、最近では十万円台で手に入ります。コンピュータは単なる道具です。それは管理にも使用できますが、思索の道具として、発想の道具として、あるいは何らかの芸術的な創造の道具としても使用できます。コンピュータが家電販売店で売られるほどに身近な存在となつた現在、管理の道具としての使い方

などまらず、さまざまな使い方がなされるようになつてきました。つまり、どのように使うかによって、管理の道具となるのか、それ以外の道具となるのかということです。

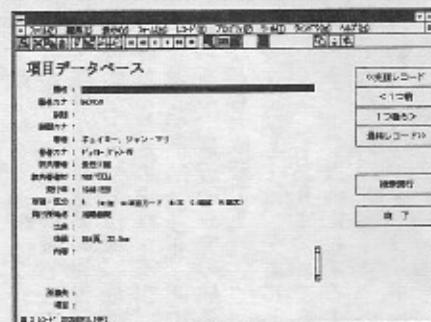


図2 プロジェクトカード

■データベースの構造
データベースがどのようなものであるかは、感覚的には誰でも理解していることと思います。よく分からなければ、電話帳を思い起してください。それがデータベースです。

電話帳の項目は、職業別の場合、会社名、電話番号、住所があります。その項目でデータが作成され、

職業別の大分類、その下の地区別の分類に分けられた後、五十音順で一覧に並べられています。

これをコンピュータのデータとするときは、同じような項目を作成し、その項目の中に具体的なデータを記入していきます。

コンピュータのデータはすべて電気的な信号のかたまりですから、ノートを広げて升目を作り、その中に鉛筆やペンでデータを記入していくというような作業はできません。

にとどまらず、さまざまな使い方がなされるようになつてきました。つまり、どのように使うかによって、管理の道具となるのか、それ以外の道具となるのかということです。

■データベースの構造

データベースがどのようなものであるかは、感覚的には誰でも理解していることと思います。よく分からなければ、電話帳を思い起してください。それがデータベースです。

このソフトは、Paradox for Windowsと呼ばれるデータベースソフトの画面です。帳面の代わりに「テーブル」と呼ばれるファイルを開いています。また、このファイルには「電話帳.DB」という名前(ファイル名)が付けられています。

稿 稿

権力のデツチあげを許さず、アナキスト死刑囚・島田丑之助さんを救出しよう

——今を去ること約二十年前、永いマドロス生活の経験を活かして貿易業を営んでいた島田丑之助さんは、ある殺人事件に巻き込まれ犯人としてデツチ上げられました。出来いアナキズムに触れました。爾来、竹中氏の同志として、また一匹狼として世界の革命運動とかかわり、日本にも密入・出国を繰り返して、ユートピア実現のため尽力してきました。活動資金

その代わり、図1のようなソフトウェアを利用して、ノートに記入するのと同じような状態を作り出します。

このソフトは、Paradox for Windowsと呼ばれるデータベースソフトの画面です。帳面の代わりに「テーブル」と呼ばれるファイルを開いています。また、このファイルには「電話帳.DB」という名前(ファイル名)が付けられています。

次回は、データの入力方法などを説明します。

図2は、項目カードのデータベースファイルです。ご覧のように、実際にデータを入力するための構造は、項目数も多くなります。スファイルです。ご覧のように、実際にデータを入力するための構造は、項目数も多くなります。

獲得のための闘争を準備中の八七年、福井県下で逮捕され殺人二件(一つは国外)のデツチあげと爆破などで起訴。一審は無期判決で島田さんは、国内での知名度が低く、また「思想犯」でないため仲間の支援も十分ではありません。リベーロ読者の皆さん、どうか島田丑之助さんを助けてください。爆弾の効力鑑定費用が三〇万円以上不足しています。絶大なる支援

・カンバをお願いします。

(以下、島田さん本人からの手紙

から一部を紹介します)

「同志の皆さん。國家権力の殺人である死刑執行の全廃を願う全ての皆さん。島田丑之助と申します。私は六三歳。四国山脈を走り回り、狼をしたり、海辺にワラ小屋を作つて小舟で漁をしたりして生活している幡多郡伊豆田村の被差別部落の出身です。(中略)

悪友・竹中労氏はすでに亡く、

孤独な戦いを強いられています。

弁護士は一審、二審とともに国選で

の皆さん。島田丑之助と申します。

私は六三歳。四国山脈を走り回り、

狼をしたり、海辺にワラ小屋を作つて小舟で漁をしたりして生活して

いる幡多郡伊豆田村の被差別部落の出身です。(中略)

連絡先=東京都港区新橋二の八の一六石田ビル四階救援連絡センター
気付日本死刑囚会議=麦の会氣付
麦の会獄外事務局 大浜菊雄

す。日本死刑囚会議=麦の会の会員です。関係者のしたたかなる寝返り、また、当局の激しい弾圧、嫌がらせにあいながらも、私の無政府社会を目指す意志は明確あります。

多大なるご支援をお願いします。

金沢拘在監・島田丑之助

住所=石川県金沢市田上町公の一

とると四百字詰め原稿用紙で四枚くらいです。

原稿は手書きの場合には当方で入力しますが、電子媒体にて送つていただければ助かります。ワードプロ使用の場合はテキストファイル形式で、フロッピーディスクで、または電子メールで送つてください。次回の締め切りは7月25日です。

【送り先】
(郵送の場合)
連絡先=奥沢まで
(電子メールの場合)
PFC00170 (NiftyServe) または
はT-SATOU(A-NET) の佐藤徹まで

編集後記

●教えてください

「延島英一」の蔵書が日本近代文学館に寄贈されたという話を聞いた。そこで、蔵書の整理、目録の有無を問い合わせたところ、同館の寄贈書リストに名前が見当たらぬ……との返事である。どうか、この間の事情を知っている方がいましたら、教えてください。

●お知らせ
【定期購読者だった方へ】
休刊によつて生じた残号分は、新リベーロを4号分送ることで、清算させて頂きます。4号発送時に、あらためて継続の意思の有無を確認させて頂きます。

文献センター通信・リベーロ 第2号
一九九五年五月一五日発行

発行所/文献センター

編集/リベーロ編集部

連絡先/東京都新宿区本塩町8
エーデルホーフ内

定価/三百円(送料込)

年間定期購読料(年四回発行)/千二百円(送料込)

郵便振替口座
00150-1-82622
(会員の方へ)
文献センターの会員の方には会報として送付します。購読料は会費に含まれています。